

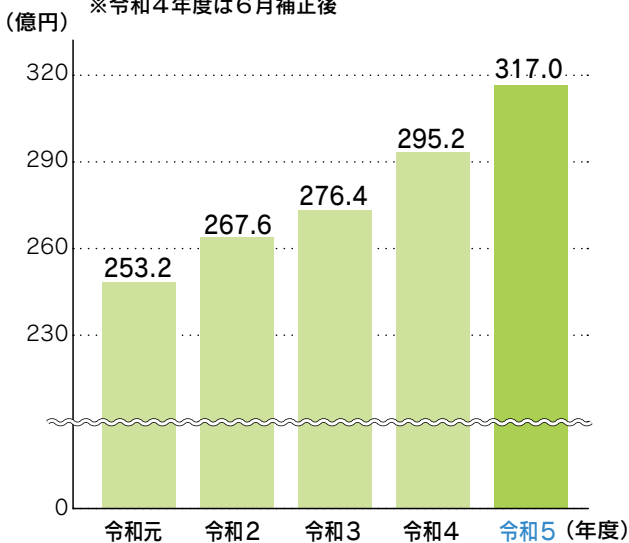
# 一般会計

令和5年度当初予算総額

# 316億9,600万円

## 一般会計予算額の年度別推移

※令和4年度は6月補正後

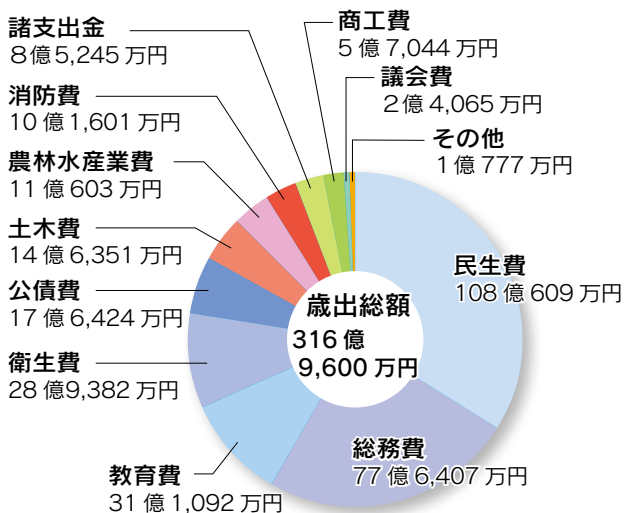


令和5年度の財政状況は、歳入では、市内企業の大規模な設備投資の効果等による市税の大幅な増加やふるさと応援寄附金の堅調な伸びを見込んでいます。

歳出では、扶助費など社会保障に関する経費等の義務的経費が年々増加していることに加え、伊万里中学校や東山代小学校・コミュニティセンター等複合施設の整備、老朽化した道路や橋りょうの大規模な改良や補修などの投資的経費が大幅に増加します。

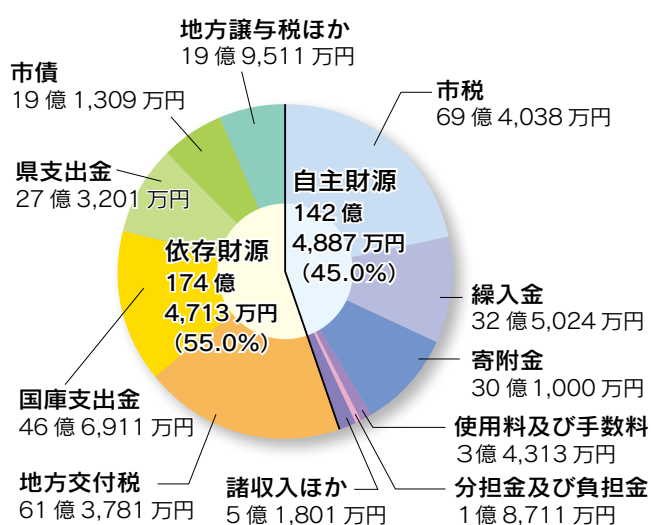
こうしたなか、新たな子育て支援施策やデジタル技術を積極的に活用した施策など、伊万里市に真に必要な事業を強力で進めながらも、これまでも進めてきた『選択と集中』の考え方を基本とし、財政の健全化を両立した予算編成を行いました。その結果、今年度の一般会計予算は、総額316億9,600万円で、令和4年度6月補正後予算と比較し7.4%の増加となっています。

## 歳出



- **民生費** …… 社会福祉や児童福祉、生活保護など市民の安定した生活を保障する経費です。
- **総務費** …… 企画や男女協働、まちづくりなど、主に総務部門に要する経費です。
- **教育費** …… 小・中学校などの学校教育や社会教育、保健体育など教育全般の経費です。
- **衛生費** …… 保健衛生や、ごみの収集・処理などに要する経費です。
- **公債費** …… 借入金の返済に要する経費です。
- **土木費** …… 道路や河川、住宅、公園、市街地などの整備や維持管理に要する経費です。
- **農林水産業費** …… 農林水産業の振興に要する経費です。
- **消防費** …… 火災など災害に対応するための経費です。
- **諸支出金** …… 企業会計への繰入金などです。
- **商工費** …… 商工業や観光の振興に要する経費です。
- **議会費** …… 議会運営に要する経費です。
- **その他** …… 労働費や災害復旧費などです。

## 歳入



- **市税** …… 個人と法人の市民税や固定資産税、たばこ税などです。
- **繰入金** …… 基金や特別会計からの繰入金です。
- **寄附金** …… ふるさと応援寄附金など、個人や法人などから受ける金銭寄附です。
- **使用料及び手数料** …… 施設の使用料、戸籍や住民票の謄・抄本の手数料などです。
- **分担金及び負担金** …… 災害復旧事業の負担金、保育園の入所負担金などです。
- **諸収入ほか** …… 受託事業収入や雑入などです。
- **地方交付税** …… 国が徴収した税金から、地方公共団体が等しく事務を進められるよう一定の基準で交付されるものです。
- **国庫支出金** …… 国からの負担金や補助金です。
- **県支出金** …… 県からの負担金や補助金です。
- **市債** …… 市が行う事業の財源として、国や金融機関などから借り入れる借入金です。
- **地方譲与税ほか** …… 地方譲与税や地方消費税交付金などです。

# 特別会計

特定の事業を行う際、特定の収入をもってその支出に充て、一般会計と区分して経理する必要のあるため、特別会計を設けています。

令和5年度は、表1のとおり3つの特別会計を設けていて、その予算総額は、148億9550万円となっています。

## ■国民健康保険特別会計

国民健康保険税や県支出金を主な財源として、医療給付などを行うための会計です。

## ■介護保険特別会計

介護保険料や国庫支出金を主な財源として、介護サービスを行うための会計です。

## ■後期高齢者医療特別会計

後期高齢者医療制度の適用を受ける75歳以上の高齢者と、65歳以上で一定の障がいがある人から徴収した保険料を、佐賀県後期高齢者医療広域連合に納付する会計です。



表1 特別会計予算額

特別会計名	予算額
国民健康保険	69億7,020万円
介護保険	63億6,842万円
後期高齢者医療	15億5,688万円
計	148億9,550万円



# 企業会計

地方公営企業法の適用を受け、特別会計の中でも経営成績を明確にする必要があるため、次の3つの企業会計を設けています。それぞれの会計ごとの予算額は、表2のとおりです。

## ■水道事業特別会計

安心して飲める水を供給するため、水道使用料などを財源に、事業運営や施設整備などを行う会計です。

## ■工業用水道事業特別会計

工業用水を供給するため、使用料などを財源に、事業運営や施設整備などを行う会計です。

## ■下水道事業特別会計

下水道を維持管理するため、使用料などを財源に、事業運営や施設整備などを行う会計です。

# 市債現在高

建設事業などを行う際に、その財源の一部として、国や県、金融機関などから資金を借り入れています。市の現在の現在高は、表3のとおりです。

表2 企業会計予算額

区分	収益的収支	資本的収支
水道事業	収入	収入
	14億7,732万円	7億2,158万円
	支出	支出
	14億7,732万円	15億7,838万円
工業用水道事業	収入	収入
	10億6,131万円	2億6,531万円
	支出	支出
	10億6,131万円	8億8,058万円
下水道事業	収入	収入
	13億3,582万円	14億3,506万円
	支出	支出
	13億3,582万円	17億4,200万円

表3 市債現在高

会計区分	現在高
一般会計	213億8,859万円
国民健康保険特別会計	5,000万円
計	214億3,859万円

会計区分	現在高	
企業会計	水道事業	52億3,072万円
	工業用水道事業	82億6,869万円
	下水道事業	76億5,629万円
	計	211億5,570万円

※令和5年2月補正後の額です。

※主な借入先は、財務省、地方公共団体金融機構、佐賀県、市中金融機関などです。